

# 市民後見協力員の 活動状況について

令和6年11月19日（火）

松戸市 地域包括ケア推進課・障害福祉課

# 市民後見協力員の活動状況について（訪問人数等）

令和5年度実績（しぐなるあいず）

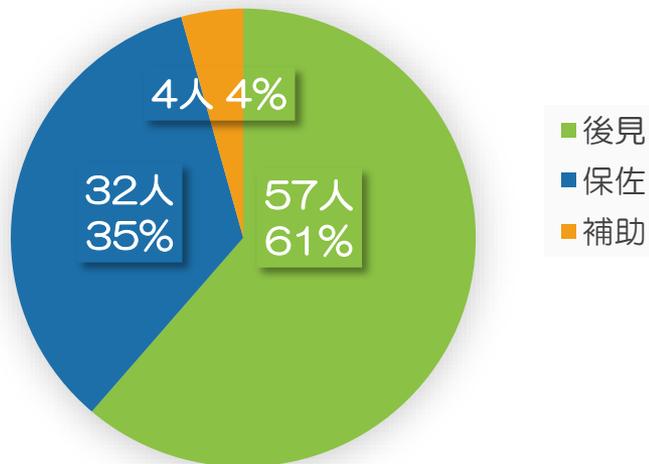
	活動協力員人数	訪問対象者数	うち、2回以上訪問した人数	延べ訪問日数
4月	35人	61人	5人	66日
5月	34人	65人	4人	70日
6月	38人	65人	4人	69日
7月	39人	67人	6人	75日
8月	37人	64人	3人	67日
9月	37人	62人	4人	66日
10月	39人	69人	5人	74日
11月	38人	65人	5人	70日
12月	38人	71人	4人	75日
1月	36人	66人	3人	69日
2月	38人	62人	4人	67日
3月	37人	66人	3人	69日
総計	446人	783人	50人	837日

令和5年度実績（早稲田成年後見センター）

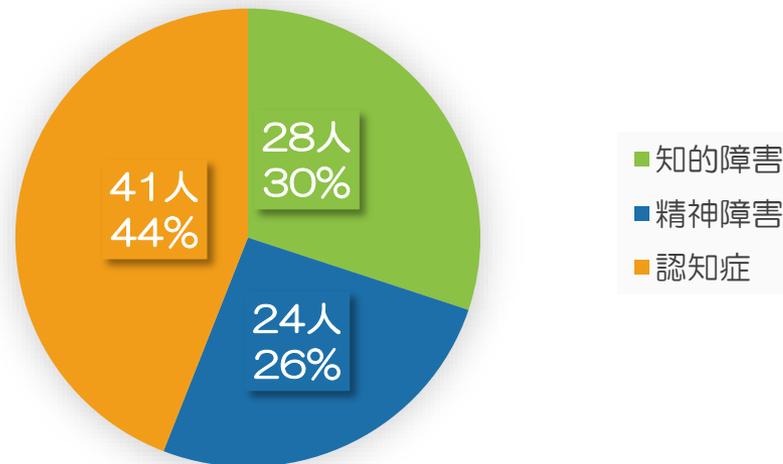
	活動協力員人数	訪問対象者数	うち、2回以上訪問した人数	延べ訪問日数
4月	4人	4人	0人	4日
5月	6人	6人	0人	6日
6月	5人	5人	1人	6日
7月	4人	4人	0人	4日
8月	4人	4人	0人	4日
9月	3人	3人	0人	3日
10月	4人	4人	0人	4日
11月	5人	5人	0人	5日
12月	6人	6人	0人	6日
1月	6人	6人	0人	6日
2月	5人	5人	0人	5日
3月	5人	5人	0人	5日
総計	57人	57人	1人	58日

# 市民後見協力員の活動状況について（統計）

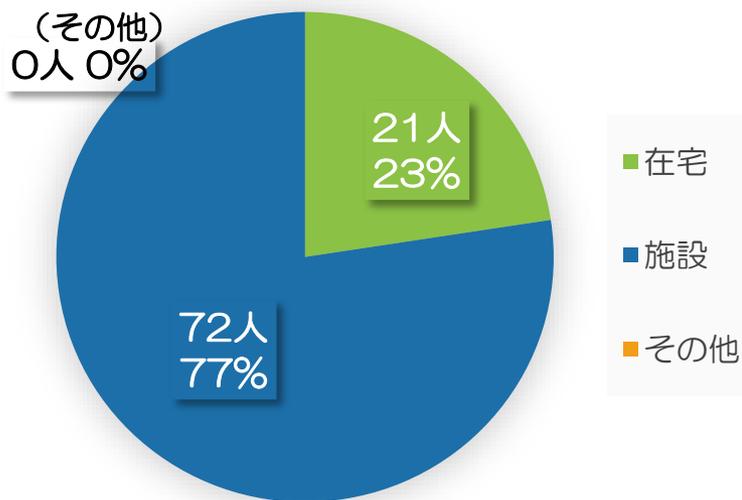
## 対象者の後見等の類型



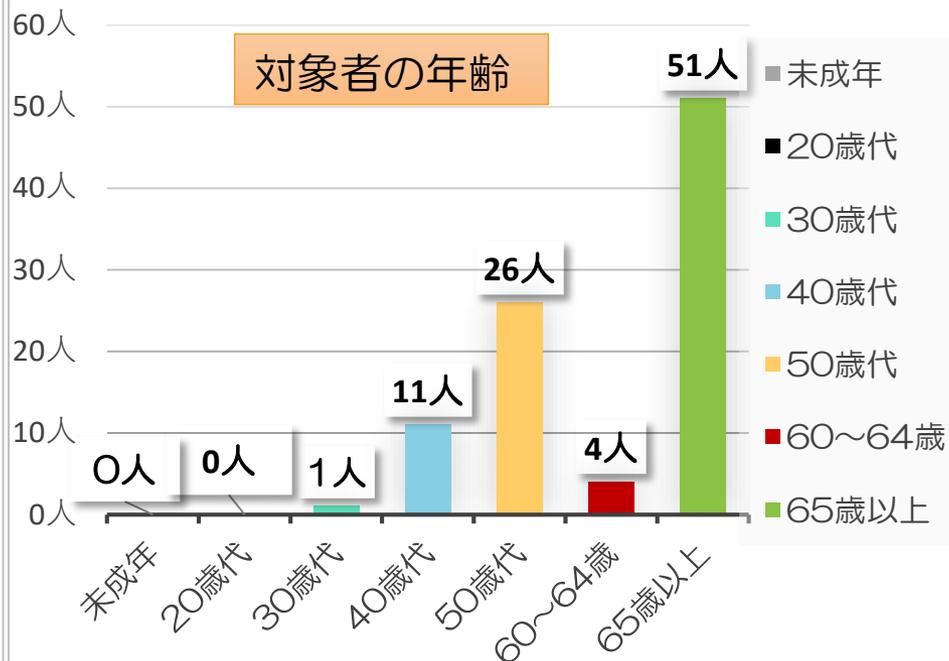
## 対象者の原因種別



## 対象者の生活様態



## 対象者の年齢



# 市民後見協力員の活動状況について（統計）

## 令和4年度実績と令和5年度実績の比較

	R4	R5	増減 (前年比)	前年対比
しぐなるあいず 協力員延べ人数	343人	446人	103人	130.0%
早稲田後見センター 協力員延べ人数	43人	57人	14人	132.6%
訪問対象者延べ人数	714人	840人	126人	117.6%
延べ訪問日数	789日	895日	106日	113.4%

# 市民後見協力員の活動状況について（分析）

- 市民後見協力員の訪問対象者の原因種別は障害と高齢でおおよそ半数ずつであった。
- 後見等の分類は後見が6割を占め、保佐が約3割、補助が残りとなっており、被後見人の方の割合が多い。
- 対象者の年齢は未成年及び20歳代は0人、30歳代で1人だが、40歳代となると11人と急激に増え50歳代は26人、60歳以降となると55人と年齢を重ねるごとに対象者数が増える傾向となっている。
- 60歳以降の人数が多いことからか、対象者の居住の場としては自宅より施設割合が多く約8割が施設に入所中であった。
- 令和4年度の活動実績  
しぐなるあいずでの活動協力員延べ人数：343人  
早稲田成年後見センターでの活動協力員延べ人数：43人  
対象者延べ人数：714人（2法人合算）  
延べ訪問日数：789日



前年度実績と令和5年度実績を比較すると、訪問対象者数が増加しており、活動協力員の人数や訪問日数が増加している。  
市民後見協力員のニーズが増加していることが伺える。

# 市民後見協力員の活動状況について

## 令和6年度市民後見協力員養成講座

- 令和6年6月14日～7月26日の日程で開催。全6日間の日程。
- 講座数は19コマ。約26時間に及ぶ講義及びグループワークなどを実施。
- 申込者21名。うち、養成講座受講者は15名。
- 15名のうち全講座を受講し市民後見協力員への登録を希望している受講者は14名。
- 現在実務研修期間中（令和7年1月末まで）

➡ 実務研修終了後、市民後見協力員登録証を発行。  
次年度より協力員として活動していただきます。

# 市民後見協力員の活動状況について

## ◎市民後見協力員に期待される役割は何か

- 同じ地域に住む市民として被後見人の身近な存在、相談者の一人となる
- 協力員として活動することで障害者、認知症の方への理解を深める
- 市民後見協力員の活動を通して後見制度や法人後見制度の理解を一層深める。

# 市民後見協力員の活動状況について

## ◎市民後見協力員活動の今後の課題 (1)

- 市民後見協力員によって知識や熱意に差があり、研修等でスキルアップを図る。
- 法人後見や市民後見協力員についての普及啓発。  
(初回訪問で説明するも担当変更や面会時の対応がまちまちで周知されにくいことで市民が不安を感じる)
- 登録のみで活動実績がない市民後見協力員へのフォロー。

# 市民後見協力員の活動状況について

## ◎市民後見協力員活動の今後の課題 (2)

- 制度開始から10年経過し、制度開始当初の市民後見協力員が高齢化。辞退者が増加する可能性がある。
- 重度の障害を抱える被後見人・困難事案の受任が増え、市民後見協力員のスキルアップが求められる。